

夢洲関連事業における工事車両の運行管理

【AIカメラ等を活用した工事車両の運行管理システム】

- 異なる事業の多くの工事車両が、時間帯毎に配分された台数を遵守しているかを管理する必要があることから、**AIカメラ等を活用した運行管理システムを構築**していく。
- R5年度には、万博工事が本格化することから、R4年度にはシステムを構築して試行実施を行い、R5年度からの本格運用をめざす。

① 南北ルート別、時間帯別上限台数の設定

- 工事車両の配分調整結果を踏まえ、ルート別（北・中央・南）、時間帯別の通行可能台数を設定（上限）

大塚 230
E 12-34



② 工事用車両の事前登録

- 夢洲へ流出入する工事車両の車両ナンバーを事前登録
- 必要に応じて事業者間で台数調整



③ 工事車両の運行確認と通行状況の把握

- 道路等に設置したAIカメラ等で通行確認（車両ナンバーを読み取り、登録車両かどうかを自動照合）
- 入退場ゲート到着時に車両情報をAIカメラ等で確認し、登録車両かどうかを照合（未登録車両は、別途登録）
- 違反事業者に警告



カメラ等設置位置（案）